

『後退くい』のうち方



後退くいを設置する方や自主整備完了届の提出を担当する方へ、このチラシを引き継ぐようお願いいたします。

- 後退くいは敷地内に設置してください。
- 矢印の先は道路側に向けてください。

※道路内に設置しないでください。

隅切りがある場合

後退くいは、後退線を示すものです。
隣地境界や隅切り及び折れ点のポイント（点）の隣に設置します。
境界石等がある場合は、できるだけその直近に設置してください。

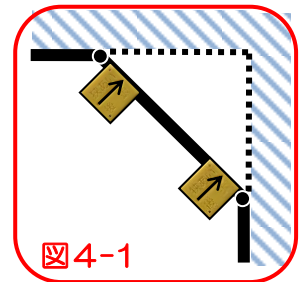
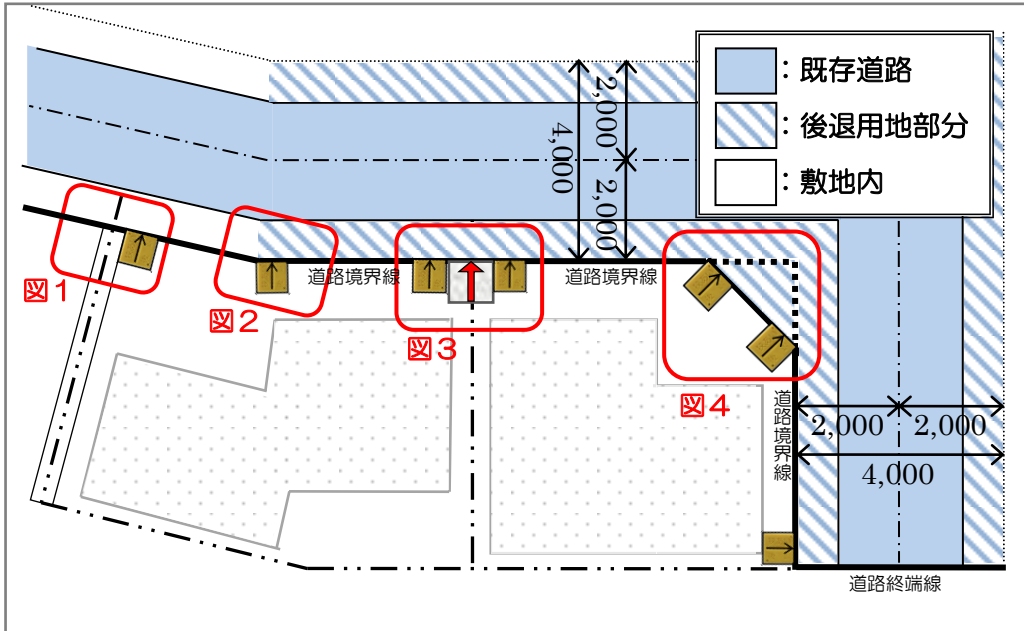


図4-1

または

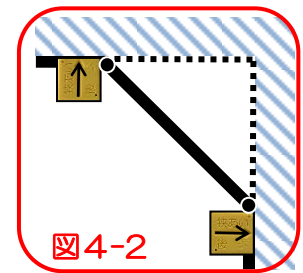


図4-2

ブロック塀等がある場合

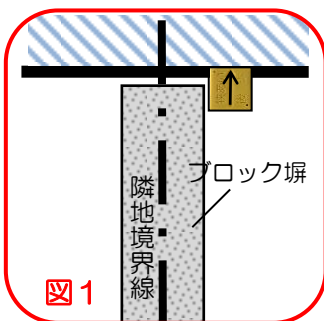


図1

折れ点がある場合

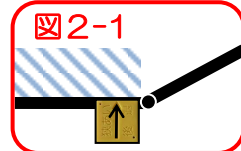


図2-1

または

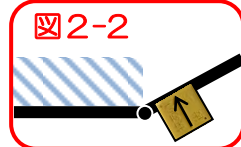


図2-2

境界石等がある場合

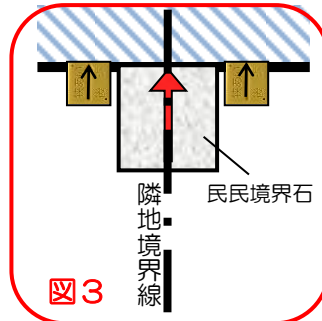


図3

隅切り・折れ点に
境界石等がある場合

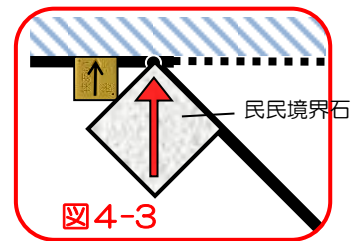
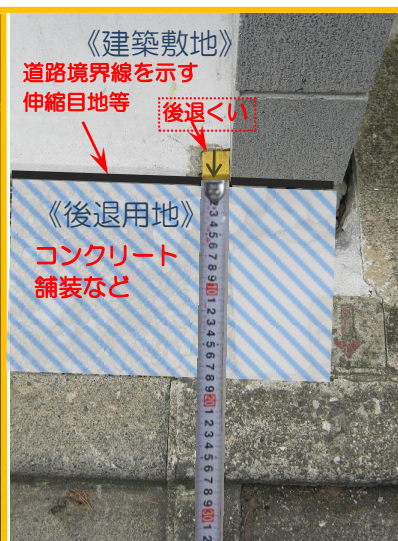


図4-3



自主整備事例

道路境界線を示す
伸縮目地等



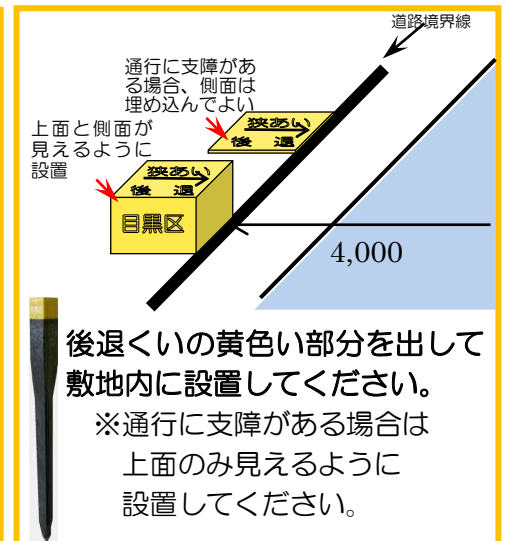
《建築敷地》

道路境界線を示す
伸縮目地等

後退くい

《後退用地》

コンクリート
舗装など



通行に支障がある場合、側面は埋め込んでよい
上面と側面が見えるように設置

後退くいの黄色い部分を出して敷地内に設置してください。

※通行に支障がある場合は上面のみ見えるように設置してください。